

平成 29 年度事業計画書（期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

1. ボディビル・フィットネスの普及及び指導並びに振興

(1) ジュニア選手助成公募事業の開始

- ・ジュニア選手強化を目標に、選手助成のための資金（特定寄附金）を募集する。
- ・選考委員会を設け、助成公募規程に基づき助成対象選手を選考する。
- ・内閣府への申請手続きを経て、今年度より開始する。

(2) 日本体育協会への加盟促進

- ・地方連盟での加盟を促進することを目標として、体協加盟促進委員会を中心に施策を実行する。

2. 選手権大会の開催（JBBF 主催大会・ブロック大会の開催予定）

【JBBF 主催大会】開催地の実行委員を実行委員会メンバーに任命し、予算作成から係わることで大会の運営を円滑に進める。

開催日	選手権大会名	開催地
7/27	SPORTEC CUP 2017	東京ビッグサイト
7/30	第 04 回 オールジャパンメンズフィジーク選手権 第 03 回 オールジャパンメンズフィットネス選手権	大阪市
8/6	第 21 回 日本クラス別選手権	仙台市
8/13	第 25 回 日本女子チャレンジカップフィジーク選手権 第 17 回 ミス 2 1 健康美大会	品川区 きゅりあん
8/27	第 28 回 ジャパンオープン選手権 第 09 回 日本クラシックボディビル選手権	川崎市
9/3	第 22 回 オールジャパンミスフィットネス選手権 第 11 回 オールジャパンミスボディフィットネス選手権 第 04 回 オールジャパンフィットネスビキニ選手権	大阪市
9/10	第 29 回 日本マスターズ選手権	伊勢市
10/9	第 63 回 男子日本ボディビル選手権 第 35 回 女子日本フィジーク選手権 第 29 回 日本ジュニアボディビル選手権 第 12 回 全国高校生ボディビル選手権	メルパルク東京

【ブロック大会】

開催日	選手権大会名	開催地
5/7	第02回 関西メンズフィジークオープン大会 第02回 関西フィットネスビキニオープン大会	大阪市
6/4	第21回 オール関西ミスフィットネス選手権 第13回 オール関西ミスボディフィットネス選手権	大阪市
6/24	第25回 東京オープンボディビル選手権	葛飾区
7/9	第17回 関東クラス別選手権	千葉市
7/16	第31回 東京クラス別ボディビル選手権 第14回 東京ボディフィットネス選手権	葛飾区
"	第01回 東海ボディフィットネス選手権	名古屋市
7/30	第36回 関東ボディビル・フィットネス選手権 第03回 関東オープン選手権	水戸市
8/13	第16回 東海マスターズ選手権	津市
8/20	第52回 東京ボディビル選手権	葛飾区
"	第44回 男子関西ボディビル選手権 第37回 女子関西フィジーク選手権 第17回 マスターズ男子関西ボディビル選手権	神戸市
8/27	第47回 男子東海クラス別ボディビル選手権 第33回 女子東海フィジーク選手権	名古屋市
"	第16回 男子関西クラス別ボディビル選手権	京都市
未定	第18回 男子東日本クラス別ボディビル選手権 第10回 女子東日本クラス別フィジーク選手権 第18回 男子東日本マスターズボディビル選手権 第09回 女子東日本ボディフィットネス選手権	未定
"	第47回 西海男子ボディビル選手権 第22回 西海男子マスターズボディビル選手権 第22回 西海女子フィジーク選手権 第03回 西海男子フィジークオープン選手権	"
"	第02回 四国メンズフィジークオープン大会 第02回 四国フィットネスビキニオープン大会	"
"	第12回 西日本選手権	"
"	第03回 東海オープンメンズフィジーク選手権 第03回 東海オープンフィットネスビキニ選手権	"
"	第25回 男子九州沖縄クラス別ボディビル選手権 第07回 九州沖縄ボディフィットネス選手権	"

開催日	選手権大会名	開催地
未定	第 47 回 四国ボディビル選手権 第 20 回 マスターズ四国ボディビル選手権 第 02 回 四国女子フィジーク選手権	未定
〃	第 44 回 男子東北北海道ボディビル選手権 第 24 回 女子東北北海道フィジーク選手権 第 19 回 東北北海道マスターズボディビル選手権 第 03 回 東北北海道ミスボディフィットネス選手権	〃
〃	第 15 回 男子中国四国ボディビル選手権 第 09 回 中国四国メンズフィジーク・オープン選手権 第 03 回 中国四国フィットネスビキニ・オープン選手権	〃
〃	第 02 回 九州沖縄メンズフィジーク選手権	〃
〃	第 51 回 日本社会人ボディビル選手権	〃
〃	第 42 回 北陸甲信越男子ボディビル選手権 第 34 回 北陸甲信越女子フィジーク選手権 第 11 回 北陸甲信越マスターズ男子ボディビル選手権	〃
〃	第 62 回 九州・沖縄ボディビル選手権	〃
〃	第 04 回 南九州男子ボディビル選手権 第 04 回 南九州女子フィジーク選手権 第 02 回 南九州男子マスターズボディビル選手権 第 02 回 南九州オープンメンズフィジーク選手権 第 02 回 南九州オープンフィットネスビキニ選手権	〃

【その他】・JBBF 登録選手（加盟クラブ・個人）の参加を認めたオープン大会の実施
・ベストボディジャパンコンテストへの協力及び相互連携（今年度限り）

JBBF 主催大会における指標

	当年度計画	前年度見込	差異
選手権大会の開催数	16 大会	16 大会	増減なし
ドーピング検査数	117 検体	90 検体	+ 27 検体
選手登録数	3,000 名	2,707 名	+ 293 名
出場選手数	1,000 名	864 名	+ 136 名
入場者数	3,500 名	3,000 名	+ 500 名

3. 国際組織への加盟及び役員並びに選手の派遣

- ① IFBB（国際連盟）、AFBF（アジア連盟）に加盟し、役員を派遣している。
- ② 我が国のボディビル界を代表し、国際組織の総会へ出席している。
 - ・IFBB 総会への出席：11月2日～6日、スペイン

・AFBF 総会への出席：5月18日～21日、フィリピン

③国際大会への役員及び選手の派遣計画（派遣選手数に自費派遣選手数を含む）

開催日	国際大会名 開催場所	派遣 役員数	派遣 選手数	前年度 派遣選手数
5/18～21	AFBF Championships フィリピン/マニラ	4	24	(14)
7月	日中韓親善大会 中国/成都	1	5	(5)
11月	日本グアム親善大会 グアム	1	20	(20)
11/2～6	IFBB World Men Championships スペイン/ベニドルム	3	6	(6)
11/10～13	IFBB World Junior and Master Championships ルーマニア/ビストリツァ	2	12	(11)
12/1～4	World Fitness Championships フランス/ビアリッツ	2	12	(10)
未定	Arnold Classic Columbus アメリカ/コロンバス	2	12	(12)

4. アンチ・ドーピングの徹底

①アンチ・ドーピング講習会の効果的な実施

- ・大会出場選手の受講義務化を継続する。
- ・年間で15回開催し、大会出場選手は出場申込前に必ず受講できる体制とする。

②アンチ・ドーピング規程に定める制裁措置の強化と改善

従来の制裁措置に加え、

- ・違反選手の氏名をホームページで公表する。
- ・違反選手は、資格停止期間中、加盟クラブで練習できない。
- ・違反選手のコーチ・指導者、または個人登録の場合の保証人に対しても罰則金を請求する。
- ・違反選手、所属クラブ（個人登録の場合は保証人）及び所属連盟からの始末書提出を徹底し、それぞれの責任を明確化する。

③使用サプリメントのアンケートの実施

- ・選手が使用するサプリメントを調査する。

5. 選手強化のための方策と検討

- ①JOC ジュニア特別強化選手の選考及び指導
- ②ジュニア期からの中・長期的な選手強化・育成
- ③強化合宿と強化プログラムの作成と実施
- ④公益財団法人日本オリンピック委員会の各委員会への参加
- ⑤ジュニア選手権、高校選手権に女子部門を新設
- ⑥選手層の拡大（フィットネス競技、女子競技、障がい者）

6. 女性競技指導者の育成

- ①「競技ルールの説明 & 審査システム講習会」の受講機会の増加
・最低でもブロック毎に年 1 回の開催
- ②講習会の JBBF 公認化

7. 広報機能の強化

- ①広報戦略（価値向上）の策定
・専門家からの意見聴取
- ②選手等のマスコミ出演の継続強化
・TV 局、プロダクション等への働きかけ
- ③ボディビル、フィットネス競技の認知度アップ
・媒体（新聞、雑誌、インターネット等）への露出
- ④JBBF 関係者への情報伝達の迅速・簡素化
・会員専用ホームページの作成
- ⑤社会貢献活動の継続
・ユニセフのチャリティ募金活動（ラブウォーク、ハンドインハンド）への協力
・ユニバーサル駅伝（障害者イベント）への協力
・ニュースポーツフェスティバル（東京都）への協力

8. 事業収益の拡大と経費削減による財務の改善

- ・協賛企業の獲得
- ・業務の効率化による経費削減（選手他登録申込一元管理システムの構築）
- ・大会収益の改善

9. 助成金事業の充実強化

- ①公益財団法人日本オリンピック委員会
・選手強化 N F 事業補助金（国際大会派遣他）
- ②独立行政法人日本スポーツ振興センター 振興くじ助成
・ドーピング検査、ジュニア・高校生大会の開催、日本マスターズ大会の開催、
アンチ・ドーピング講習会

以上